



## GREETING ごあいさつ

平素は、森本たかしNEWSをご愛読頂き、ありがとうございます。

2015年の初当選以来、大規模災害の対応について市の取り組みを指摘、新しい提案を実施してきました。

昨年9月に新水道ビジョン(2024年～2028年)が発行されました。現在の水道事業の課題と今後の施策が見える化されています。その中で、市の水道事業の課題、施設の老朽化、大規模災害への備え、水道技術職員の確保の3つの課題が明らかになってきました。

能登半島地震の復興の遅れの中でも、水道の復旧の遅れが指摘されています。

市の水道事業の耐震化状況と今後の計画、建設資金の状況について、ご報告します。

新風コスモスの会 森本 隆

## 上水道事業を考える

耐震化工事の状況を中心に課題を見える化する。

### 現状認識

- ①市の水道事業は、3町合併時(2007年)前からの長い歴史があり、旧地域は地下水等の自己水源中心。
- ②木津ニュータウンは、京都府営水道からの受水にて運営している。

### 現状課題

- ①浄水場・受水場の耐震化工事が未実施 → 木津地域2033年完了予定(対象人口:約1.8万人)
  - ・吐師受水場耐震対応工事:2028年～2033年(新設備を建築:約30億円)
- ②基幹管路(市内53km、耐震化済約13km、残り40km)の耐震化計画が困難
  - ・現在、工事費3億円で年間約1.5kmの工事実績 → 完了まで約30年
- ③大地震が発生した時の現在の想定被害
  - ・木津ニュータウンの約50%の上水道の給水が停止(地震規模にもよるが、数カ月)
- ④耐震化工事資金確保のため、水道料金値上げが必要
  - ・2027年1月までに25%水道料金値上げ必要(新水道ビジョン提案内容) → 審議会で協議予定

### 市への提案

- ①水道事業の耐震化工事実施を加速すること。
- ②耐震化工事資金確保に向けて、市民へのわかりやすい説明と水道料金値上げに早期取り組むこと。

### 木津川市水道事業現状①

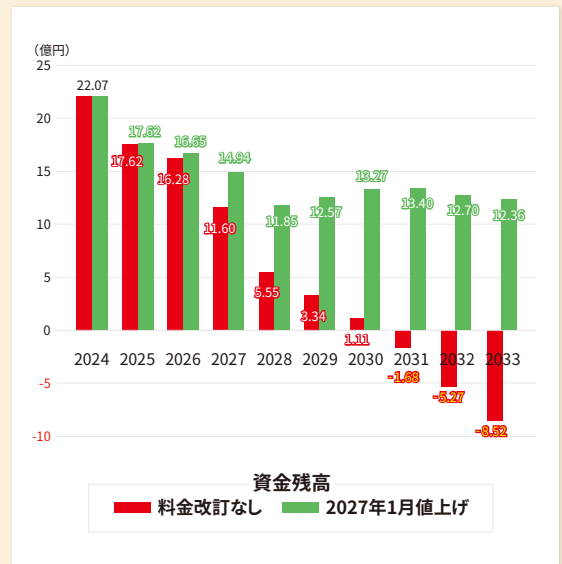
地域	浄水/受水場	処理能力(m3/日)	実績(m3/日)	水源	建設年度	耐震化
木津	吐師受水場	11,300	14,236	府営水	1977年	2034年完了予定
	木津受水場	6,000		府営水	1999年	新基準
	宮之裏浄水場	5,300	4,511	地下水	2012年	新基準
加茂	観音寺浄水場	5,400	3,375	地下水	1974年	2041年完了予定
	船屋浄水場	1,100	623	地下水	1991年	未実施
	河原浄水場	800	497	地下水	1985年	未実施
山城	山城浄水場	4,000	3,000	地下水	1974年	2026年完了予定
		33,900	26,242			

### 木津川市水道事業現状②

	水源～浄水/受水場	配水施設	容量(m3)	建設年度	人口	耐震化
木津	吐師	木津川台	2,068	1988年	6,026	実施済
		相楽西(兜台)	4,000	1985年	6,707	実施済
		相楽東(相楽台)	2,390	1987年	4,902	実施済
	木津	木津南(梅美台、州見台)	8,164	1998年	25,112	新耐震基準
木津東(城山台)		1,923	2008年	新耐震基準		
加茂	観音寺	木津中央	5,281	2009年	16,480	新耐震基準
		南加茂台(高区)	1,914	1982年		実施済
		南加茂台(低区)	1,200	1982年		2046年完了予定
山城	山城	山城	1,700	2017年	7,747	新耐震基準

(注) 加茂地域、船屋、河原については未記載

### 水道事業 資金見通



新水道ビジョンより転記

12月議会での質問 (一般質問)

質問 1 水道水のPFAS (有機フッ素化合物)汚染は

Q 森本隆 水道水のPFAS(有機フッ素化合物)汚染が全国的に確認されているが、市の現状は。

A 上下水道部長 PFAS(パーフラス)のうち、PFOS(ピーフォス)、PFOA(ピーフォア)については、国において暫定目標値が設定された2020年以降、今年度まで水質検査の数値は、暫定目標値である50ナノグラムの5分の3以下を推移している。

また、府営水道からの受水についても、同様の結果となっており、水質上問題ないと考えている。

Q 森本隆 検査の頻度と、検査の場所は。

A 上下水道部長 年に1回の検査をしている。場所については、各浄水場ごと、宮ノ裏浄水場、観音寺浄水場、船屋浄水場、河原浄水場、山城浄水場で検査している。

質問 2 環境への取り組みは

Q 森本隆 水道施設の屋上に太陽光発電設備等を設置する考えは。

A 上下水道部長 太陽光発電施設の設置については、初期投資費用や維持管理費用との採算性の観点や、一定規模の用地または設置施設の耐震性などの要件から、現在のところ太陽光発電施設の設置には至っていない。しかし、水道施設で使用するエネルギーのほとんどが電力であることから、水道施設の更新工事や耐震改修などを行う際には、積極的に導入を検討する。

質問 3 水道事業の耐震化の現状は

Q 森本隆 水道事業の課題と対策は。

A 上下水道部長 水道ビジョンでは、安全で安心な水道、強靱な水道、持続可能な水道の3つの課題への対策に取り組む。

安全で安心な水道の課題は、水質管理の充実と強化で、水の安全性を確保し、徹底した水質管理により、安全で良質な水道水の供給を維持する。市全体の給水量の半分以上を賄っている京都府営水道とも一層の連携を図っていく。

強靱な水道の課題は、アセットマネジメント手法を用いて更新費用を把握し、水道施設の計画的な更新を行っていく。

持続可能な水道の課題は、水道施設の耐震化で、優先度の高い水道施設から耐震化を図っていく。

Q 森本隆 水道ビジョンによると、木津吐師受水場、加茂観音寺浄水場等が耐震化されていないが、大地震が発生したらどうなるのか。

A 上下水道部長 耐震化していない施設が壊れたら一から作り直す必要がある。一番大事なのは、浄水場と京都府営水道からもらっている受水場、そちらの耐震化をまず一番に進めていく。

その後、そこから各配水池に送る送水管、その次には配水池、そういった形で整備をしていくのが耐震化という中で一番大切と考えている。

質問 4 主要耐震化工事の終了予定は

Q 森本隆 重要施設耐震化工事が完了する予定は。

A 上下水道部長 木津吐師受水場は、令和8年から令和16年を計画している。それと、加茂観音寺の浄水場は、令和13年から令和23年で工事を計画している。

南加茂台の配水池は、令和22年から令和28年間で想定している。

Q 森本隆 能登半島の地震でも水道の復旧の遅れが大きな課題になっている。浄水場、受水場、配水施設、基幹管路については、せめてこの10年の間に耐震化すべきと思うが。

A 副市長 能登半島地震では、水道施設の復旧の遅れというのが非常に指摘されている。

実際に、工事をやろうと思うと、体制、技術者も含めて必要になってくるので、その辺りを、体制も含め検討する必要がある。

Q 森本隆 公共施設の耐震化は優先的に実施している。市長、副市長のリーダーシップで耐震化工事を前倒しすべきでは。

A 上下水道部長 今後10年間で96億円、木津吐師受水場だけで22億円を計画している。

質問 5 水道料金値上げの必要性は

Q 森本隆 大規模災害については、危機管理監を中心に取り組んでいる。水道については、水道施設の耐震化の遅れにより、木津ニュータウンでは数カ月水道が不通になる可能性があることがわかった。抱える人口が多い地域である、市長の見解は。

A 市長 基幹管路を全部更新すると100億円を超えて、施設を更新するとさらに何十億円かかる中、耐震化を一気に進めることは困難。優先順位を決めて更新を行っていく。

料金改定については、1年後、令和7年の12月に答申をいただく予定で進めていく。

Q 森本隆 水道事業の耐震化は、市長、副市長のトップマネジメントが必要な課題である。また、水道事業の現状をわかりやすく、課題の見える化が必要。この2つを要望する。

編集後記

今年は、自動運転バス導入にチャレンジするとともに、新消防庁舎竣工(令和7年度中)に向けて取り組んで参ります。



▲岐阜市自動運転バス視察



▲新消防庁舎建設現場視察



森本隆 [もりもと たかし] プロフィール

無所属 新風コスモスの会所属

1959年 大阪府生まれ/1997年から兜台7丁目在住  
大阪府立茨木高等学校卒業/京都工芸繊維大学 機械工学科卒業  
元パナソニック(株)社員【勤続32年・2015年退職】/木津川市議会議員(2015年~)

議会役歴 市議会議長(2021年~2023年)/議会運営委員会 委員長(2019年~2021年)

主な活動履歴 ●兜台7丁目自治会長(2期) ●青少年育成委員(4年)

●東日本大震災「はじめの一歩コンサート」を主催(2011年から5回実施:於 高の原)

【家族】妻と一男一女 【趣味】写真撮影、旅行、ゴルフ

https://takashi-supportclub.net/  
morimoto077473@clock.ocn.ne.jp

